

サンプル問題 set B

株式会社日本経営協会総合研究所

◇ 言語 ◇

次の慣用句を使った例文として、正しいものはどれか。

1. 身からでたさび／彼が病気になったのは身からでたさびだ。 ◎
2. 二の足をふむ／あまり悔しいので、つい二の足をふんだ。
3. 身の毛がよだつ／あまりにも寒くて、身の毛がよだつほどだった。
4. 頭が高い／あの人は頭が高いから、技術者に向いている。
5. 身を立てる／一度事業に失敗した彼は、身を立ててがんばった。

【 解説 】

1. 身から出たさび：自分自身で犯した悪行が原因で、自ら苦しむこと。
2. 二の足をふむ：思い切れずに迷う。ためらう。しりごみする。
3. 身の毛がよだつ：恐怖のために、身の毛が逆立つ。ぞっとする。
4. 頭が高い：相手を見下げる態度で、無礼である。
5. 身を立てる：立身出世する。生計を成り立たせる。

◇ 数理 ◇

クリスマス会で、参加者から 1 人 3500 円ずつ会費を集めると予算が 2400 円不足し、1 人 4000 円ずつ集めると 3600 円余る。クラス会の参加者は何人か。

1. 12 人 ◎
2. 11 人
3. 13 人
4. 14 人
5. 15 人

【 解説 】

参加人数を x 人とし、予算について式を立てると以下のようなになる。

$$3500x + 2400 = 4000x - 3600$$

この式を解くと、 $x=12$ となる。

サンプル問題 set B

株式会社日本経営協会総合研究所

◇ 論理 ◇

ある学年で、化学の講義を受講している学生が 75 名おり、化学と英語の講義を両方受講している学生は 16 名いる。また化学の講義も英語の講義も受講していない学生は、80 名である。学年全体の人数が 238 名のとき、英語の講義をとっている学生は何名か。

1. 179 名 2. 83 名 3. 155 名 4. 73 名 5. 99 名◎

【 解説 】

英語の講義をとっている学生を x 名とすると、以下の式が成り立つ。

$$75 + x - 16 + 80 = 238$$

この式を解くと、 $x=99$ となる。

◇ 常識 ◇

次の組み合わせで誤っているものはどれか。

1. 南総里見八犬伝 …… 式亭三馬 ◎
2. 曾根崎心中 …… 近松門左衛門
3. 雨月物語 …… 上田秋成
4. 東海道中膝栗毛 …… 十返舎一九
5. 日本永代蔵 …… 井原西鶴

【 解説 】

南総里見八犬伝は、曲亭馬琴（滝沢馬琴）の作品。式亭三馬は江戸時代後期の浮世絵師である。

◇ 英語 ◇

次の日本語の意味を最も適切に表している英文を、1～5 から選びなさい。

この本を辞書なしで読むことは、彼には難しいです。

1. It is difficult for him to read this book without a dictionary. ◎
2. This book is too difficult to read to him without a dictionary.
3. It is difficult of him reading this book without a dictionary.
4. It is difficult to him for reading this book without a dictionary.
5. This book is so difficult that he can read it with a dictionary.

【 解説 】

「It is difficult for + (人) +to 動詞の原形」の構文を使った文章。「(人) には～をするのが難しい」